

管理番号	拠点	件名	懸案内容	対策内容	優先度	重要度	対策予定日	対策着手日	対策完了日	ステータス	備考
48	大阪大学 東京女子医科大学	Windowsスレート端末のウイルス対策ソフト導入状況	阪大と女子医のデジベンサーバにインストールされているSymantec Endpoint Protection Managerを見ると、管理しているWindowsスレート端末が表示されていない。他拠点だとクライアント端末は表示されるため、阪大と女子医はインストールの状態が他拠点と比べて異なっているのではないかと。	[8/2]東京女子医科大学でインストール状況について確認いたしました。デジベンサーバのSEPは、他拠点とはインストール方法が異なっていたため、インストールし直しました。Windowsスレート端末については、確認できていないものについては、まだサーバに接続していない状態であったため、接続してウイルス定義等が最新になることを確認いたしました。1台だけ別の場所で使用中とのことで確認できておりません。 [8/6]大阪大学でインストール状況を確認いたしました。Windowsスレート端末全台にSEPをインストールし、サーバと接続してウイルス定義等が最新になったことを確認いたしました。 [8/7]東京女子医科大学で未確認だったWindowsスレート端末1台について、SEPを一度アンインストールしていただくご連絡をいただきました。8/9の午前中に東京女子医科大学にお伺いし、インストールを実施いたします。 [8/9]東京女子医大で未確認だったWindowsスレート端末1台にSEPをインストールしました。	中	中	2013/8/9	2013/8/2	2013/8/9	済	
49	大阪大学	阪大と札幌DCの間で通信が切断された	7/3の13時50分頃から、阪大と札幌DCとの間で一時的に通信が遮断された。阪大のFortigate1000のログを見ると、通信が途切れている時間帯に、インターネットの特定のアドレスからWAN側のポートに大量にアクセスされていた。 阪大は大学全体で一審外側にFWがあり、その内部にFortigate1000が設置されている。大学FWからはアクセスできないことを確認している。	[7/12]Fortigate1000が単位時間当たりの程度のパケットを截れるのかを調査します。また、インターネットからのDMZパケットに対して応答しているため、Fortigateのポリシーを確認します。 [7/16]Fortigate1000がどのくらいの量のパケットを受信しても問題なく動作するかを調査します。	中	中	未	未	未	済	
50	成育医療研究センター	VFPのNICがリンクダウンした	7/3の深夜にVFPのh0ポートがリンクダウンしたというASSISTの報知があった。約3分後には自動で正常状態に回復した。サポートからは、調断レベルのものかもしれないとのこと。	[8/7]池田様より、8/7の0:50頃にリンクダウンのメールがあったとのことご連絡がありました。池田様より、日立システムズに確認させていただいております。 [8/26]成育医療センターでログ取得用のドライバをインストールいたしました。調査いたしました。 [9/4]池田様から、8/4(水)は発生していない旨ご連絡をいただきました。保守員にも展開いたしました。 [10/8]VFPのファームウェアを最新版にすることで修正される可能性があります。現在確認中です。 [10/23]暫定で、RHELバージョンアップ11/21以降に実施予定です。VFPファームウェアアップデートを同日に行うかどうかは検討中です。	中	中	11月中	2013/8/26	未	移行	障害一覧に移行
51	成育医療研究センター	UPSの管理画面「UPS Web Monitoring」に接続できない	デジベンサーバから、Internet Explorerを立ち上げ、お気に入りの「UPS Web Monitoring」をクリックしても接続できず、「接続できません」と表示されてしまう。Pingやtelnetで80ポートにはアクセスできることを確認している。 阪大や女子医では問題なく接続できている。	[7/18]成育で全機器をシャットダウンして再度立ち上げなおしたら、UPS Web Monitoringに接続できたため、VFP用HUSを起動することができました。しかし、HUSを起動した直後からUPS Web Monitoringが反応しなくなり、その後は接続できなくなりました。 [7/19]UPS保守員による調査を行いました。UPSのIPが192.168.30.171の機器の基盤を交換して状況を確認することになります。 [7/24]UPS本体を交換しましたが、状況は変わりませんでした。ログを採取し、工場にて調査中です。 [8/19]工場で再現していないため、再度8/26に成育で調査させていただく予定です。 [8/26]工場の保守員と調査を行いました。保守用ノートPCをHUS用UPSに直結した状態ですと、動作は問題なく、画面が固まるなどの状態は再現しないことが分かりました。デジベンサーバなどから接続するとこれまでどおり画面が固まり、接続できなくなりました。次に成育で作業を行うときは、パケットキャプチャを実施して原因の究明を行います。 [9/20]ブラウザとして、Firefoxを使用すると問題が発生しておらず、IE8を使用すると何度かの操作で必ず問題が発生することがわかりました。根本原因については調査中ですが、手順としましてはFirefoxを使うように修正いたします。 [9/26]工場にて調査中です。10月中を目途に調査を行います。	高	大	2013/10/31	2013/8/26	未	移行	障害一覧に移行
52	全拠点	Linuxの脆弱性	日立サポート360から、ptraceを利用したローカルユーザの権限昇格に関する脆弱性についてアナウンスされたが、対応策はないとのこと。RHEL6.4については修正パッチがリリースされているが、本システムでインストールされている6.2についてはパッチのリリースはない。	[7/18]サポートにて確認中です。 [7/19]現段階では、RHEL6.2に対するパッチや対応策はアナウンスされていませんでした。RHEL6.4にバージョンアップする場合は、各種ドライバへの影響があるため、サポートに引き続き確認いたします。 [8/26]バージョンアップを前提に、サポートに情報を送付して調査を依頼しています。 [9/5]#40と同件となります。9月いっぱいには調査期間となる見込みです。その後、アップデート可能であると判断した場合、手順書の作成とアップデート作業の実施について詳細なスケジュールを作成いたします。 [9/17-20]サポートからアップデート方法について展開されました。内容を確認の上、スケジュールを作成いたします。 [9/26]10月中にスケジュールと手順書を作成いたします。	高	大	2013/12/20	2013/8/28	未	移行	障害一覧に移行
53-1	成育医療研究センター	商用電源の通電と同時にVFPが同時起動してしまう	7月24日の成育のシステム起動において、実施前から既にVFPの電源ランプが点灯しており起動状態であった。	[7/24]サポートにて確認したところ、VFPは自動起動する仕様となっており、変更はできないことがわかりました。現状では、停電によりシステムが停止したあと、商用電源が復電すると、VFPが自動起動しますが、その後また停電が発生するとVFPが即座に停止してしまう恐れがあります。現在、対応策を検討中です。 [8/23]製品個別対応として、BIOSの設定変更により自動起動しない設定と変更することで対応いたします。工場にて手順書の準備中(8/末)です。 [8/27]工場から手順書が届きました。9/13までに、阪大、成育、女子医について設定変更を実施いたします。 [9/19/10]に阪大、9/31に成育と女子医で設定作業を予定しています。 [9/10]阪大でVFPのBIOS設定作業を行いました。 [9/13]女子医でVFPのBIOS設定作業を行いました。 [9/20]成育でVFPのBIOS設定作業を行いました。	高	大	2013/9/2	2013/9/10	2013/9/20	済	
53-2	慶應大学	商用電源の通電と同時にVFPが同時起動してしまう	VFPのBIOSの設定変更を行い、自動起動を無効にする。	[10/10]設定変更が完了しました。	高	大	2013/10/15	2013/10/11	2013/10/11	済	

管理番号	拠点	件名	懸案内容	対策内容	優先度	重要度	対策予定日	対策着手日	対策完了日	ステータス	備考
54	成育医療研究センター	システム停止時に、HUSの拡張筐体#2~4のPOWERランプが点灯したままになっている。	7月23日の成育のシステム停止後も、HUSの拡張筐体#2~4のPOWERランプが緑色に点灯したままになっている。これが正しい状態なのか不明である。	[7/24]HUSのPOWERランプは、停止しているが通電はされている状態を意味しています。HUSは基本筐体と拡張筐体計については、2系統の電源がそれぞれHUS用UPSとAPUSに接続されているため、それぞれのUPSが停止した場合は、通電されない状態となり、POWERランプは消灯します。一方、拡張筐体#2~4の3台については、電源片系が商用電源につながっているため、UPS停止後も商用電源から通電されるため、POWERランプが点灯した状態となっています。そのため、手動でシステムを停止したあとも、拡張筐体の#2~4についてPOWERランプが点灯しているのは正常な状態となります。 納品物の電源配線図が正しくない可能性がありますので、確認いたします。 [8/2]東京女子医科大学の電源配線を確認いたしました。電源配線図を修正いたしました。 [8/6]大阪大学の電源配線を確認いたしました。電源配線図を修正いたしました。 [9/6]成育の状態を確認出来次第、電源配線図を提出いたします。 [9/20]成育の状態を確認しました。 [10/23]10/24に慶應大学を確認する予定です。 [10/28]慶應大学の資料を提出させていただきます。	中	中	2013/8/2	2013/8/2	2013/10/28	済	
55	全拠点	パスワード一覧表を更新する。	これまで運用してきたパスワード一覧について、新旧のパスワードが記載されていたり、ハードとソフトでファイルが分かれているので分かりにくい。	[7/30]パスワードは、変更されたものだけを記載し、ハードとソフトは同じファイルにまとめました。7/30に池田様に送付いたしました。 [7/31]LDAPユーザ及びそれに紐づくsambaパスワードもランダム文字列に変更いたします。 [8/5]DBソフトなどインストール時に設定したもので、運用では使用しないと思われる細かなパスワードも一緒に記載するかどうかについて、医科研殿に確認中です。 [8/20]池田様にファイルをお送りしました。 [8/28]池田様に20130828版のファイルをお送りしました。 [9/9]慶應分が追加されたらクローズします。 [10/3]慶應分は、WFPとilabberを変更すれば、他拠点と同様の状態となります。 [10/11]慶應分のパスワード一覧を提出させていただきます。 [10/28]慶應分のパスワードを修正して提出させていただきます。	高	大	2013/10/15	2013/10/11	2013/10/11	済	
56-1	全拠点	HUSの片系で電源供給が停止しても、HUSが自動でシャットダウンしない。	HUS用UPSを停止しても、HUSは停止せずに警告ランプがオレンジ色に点灯した状態で起動したままであった。もう一つの片系の商用電源が停電すると、シャットダウンせずに停止することになってしまふ。	[8/7]工場の調査により、HUSのマイクロプログラムの不具合であることが分かりました。#51の不具合と原因は同じになります。現在、対策やスケジュールをまとめています。 [8/19]HUSマイクロプログラムの修正版が21日にリリースされます。26日午後、成育医療センターで更新作業を実施予定です。 [8/26]成育でHUSマイクロプログラムのアップデートを行いました。その他の拠点については、9/13までに実施予定です。 [9/5/9/10]阪大、9/13に女子医に適用予定です。 [9/10]阪大でアップデートとテストを実施しました。 [9/13]女子医でアップデートとテストを実施しました。 [9/20]成育でテストを実施しました。	高	大	2013/8/26	2013/8/26	2013/9/20	済	
56-2	慶應大学	HUSの片系で電源供給が停止しても、HUSが自動でシャットダウンしない。	HUSマイクロプログラムのアップデート作業と動作テストを実施する。		高	大	2013/10/11	未	未	済	
57	大阪大学	阪大ネットワーク内通信異常	8/20-21に阪大のネットワークでサーバのping応答なし、ファイアウォール管理画面の表示が遅い、スイッチのLinuxサーバ接続ポートリンクダウンといった事象が発生した。外部からの脆弱性攻撃が契機となっている可能性がある。	[9/26]RHELバージョンアップにより状況が変わる可能性があるため、RHELバージョンアップ実施後に現象が再発した場合に対応することいたします。 [10/21]12/12に阪大のRHELのカーネルアップデートを予定しています。	中	中	2013/12/12	未	未	移行	障害一覧に移行
58	全拠点	HTTP/HTTPSの通信に限り、拠点間でアクセスができません。	東大医科研から成育や阪大にFortigateの管理画面などへ直接アクセスできてしまう。全拠点にアクセスできるのは札幌DCからのみにすべきである。	[8/28]squidを経由してアクセスできてしまうのが原因となります。しかしながら、squidの設定を変更することで他の通信に影響がある可能性もあるため、各拠点のdelegateの設定を見直しして対応することで検討しています。 9/5にスケジュールの設定変更を行い、拠点から別の拠点へのWEBアクセスを遮断するようにしました。	中	中	2013/9/5	2013/9/5	2013/9/5	済	慶應、その他拠点も作業に組み込みます。
59	札幌DC	サーバのバックアップ	札幌DCのイメージによるバックアップを取得する必要がある。	[8/23]バックアップスケジュールについて調整させていただきました。8/29に、他拠点に影響のないサーバのバックアップを取得し、その他9/5に実施します。実施し切れなかったものについては、その後の稼働維持の中で実施いたします。 [8/29]WEBサーバ2台、トレーサとリディサーバのバックアップを取得しました。 [9/5]DBサーバ2台、LDAPサーバ2台についてバックアップを取得しました。エラーデベンサーバなどのHAB000と、Virtage上で動作する解析サーバについて、エラーが確認されましたので現在確認中です。 [10/2]HAB000については、ネットワークの設定変更が必要であることがわかりました。Virtageについては、原因は特定できておりませんが、ブレードを再起動することにより正常にバックアップを取得できるようになりました。エラー状態のログを取得できないため、次回に発生したときに調査を再開させていただきたいと思っております。 [10/9]HAB000はHW設定変更が必要のため、RHELアップデート作業とあわせて現地で実施を検討しています。 [10/25]自立サーバ360から、Virtageで動作するRHELが208.5日間連続稼働すると、OSの再起動でバックアップする不具合が報告されました。本件は条件と現象が一致しているため、Virtageは本件が原因と推定しております。RHEL6.5へ、もしくはVirtageのバージョンアップで対応可能ですが、RHELは6.4に上げる予定のため、本件についてはVirtageのバージョンアップで対応することを検討しています。 [11/7]HAB000のイメージの設定変更を行いました。それに伴い、札幌DCの全サーバについてイメージバックアップの取得を行いました。	中	中	2014/1/6	2014/1/6	2014/1/7	済	

管理番号	拠点	件名	概要内容	対策内容	優先度	重要度	対策予定日	対策着手日	対策完了日	ステータス	備考
60	全拠点	VFPのLUの再構成	現在のVFPは、LUが500GB～10TB単位となっているが、実際の運用と合わなくなっていることが分かっている。そのため、LUの容量単位をもっと小さくして、必要なときにLUを割り当てるといった方法を取ることを検討する。そのためにもLUの容量単位を現在の設定より小さくすることが必要である。	[8/23]LUの設定変更については、SEでは作業が困難なため、今後追加予定の拠点でHCPやVFPの設定が必要になるときに、一緒に実施する必要があります。9/5に大まかなスケジュールをお伝えいたします。 [9/5]次期拠点追加作業に組み込む方針でスケジュールについて、池田様、黒澤様に確認していただきました。	中	中	今年度中	未	未	検討中	
61	全拠点	Linuxのウイルス対策ソフト導入検討	VFPにデータをアップロードする場合は、最終的にLinuxの/hop領域にデータをおくことになる。ウイルスなどがアップロードされた場合に検出できるように、Linuxにウイルス対策ソフトの導入を検討する。 現在、Linuxは慶應を含め全拠点で22台稼働中。	[11/14]トレンドマイクロ社の“ServerProtect for Linux”が、RHELのバージョンにかなり細かく対応しており、仮に対応していないバージョンがあった場合、ユーザからの要望を受け付けることができるようになっていきます(要事後、すぐに対応できるかどうかは保証されません)。 [12/4]12/5にWEBサーバでServerProtect for Linuxをインストールして動作確認をいたします。 [12/9]WEBサーバ#01にServerProtect for Linuxをインストールしました。 [1/7]見積書を提出します。 [1/3]見積書を提出。ライセンス期間は2014/3/1～2015/2/28とする。 [2/12]ご発注を頂き、手配を致しました。 [3/10]納品されたため、順次インストール作業を実施します。	中	中	2013/3/5	2013/10/25	未	検討中	
62	全拠点	FortigateのPING応答抑制やコネクション数上限設定の検討	外部からのDoS攻撃などに対処するための方法として、PING(ICMP)の応答を返さないようにすることや、同時コネクション作成数の上限を設定すべきかを検討する。	[9/26]10月中旬に検討結果を提出させていただきます。 [11/6]DoS攻撃用の設定を行うことができるため、コネクション数ではなくこの設定で最初の対策とさせていただきます。[12/4]12/5に設定を実施いたします。 [12/5]DoS攻撃対策は、パケットが閾値を超えたときにDoS攻撃とみなしてそのソースIPなどの情報を元にブロックをするというものになります。現在のFWはインターネットからの通信はすべてFWのポリシーでブロックしており、DoS攻撃対策は不要となります。 DMZに設置しているサーバを将来外部公開した場合に有効な設定のため、今回はDoS攻撃対策の設定を見送ることとさせていただきます。	中	中	2013/10/31	2013/11/6	未	済	
63	全拠点	研究室NWの無線LANルータのアクセス制御方法	研究室NWから無線LAN経由で再生医療HWシステムにアクセスできる端末を制御する方法を検討する。 現在、阪大と成育は専用の無線LAN、女子医大と慶應大は学内共用の無線LANを使用しており、IPアドレス制限だけだと、IPアドレスの付け替えができてしまうのでMACアドレス制限にすることも検討が必要。	[11/11]プロジェクト専用のLANとなるようネットワーク構成を検討中です。 [11/25]日立にてネットワーク構成案を作成中。11/25の週に慶應大学説明予定です。 [11/29]慶應大はNWを独立させて基盤システムに接続する予定です	中	中	2013/10/31	未	未	検討中	
64	阪大	電源の取り方が阪大だけ異なる	阪大だけ電源の取り方が異なっている。FWなどが商用電源からのみになっているので、付け替えが可能なか検討する。	[10/15]11月10日に阪大の計画停電があるため、停止のときに立会いをする予定です。そのときに電源接続変更を実施いたします。 [11/6]FWとAprezial lightをPDU#2(APDUS#5から給電)に接続しおしました。	中	中	2013/11/8	2013/11/8	2013/11/8	済	
65	全拠点	SINETの通信プロトコルの選定について	SINET4はL2VPNが使用可能である。再生医療ではSINET4のサービスは使わずに、FWの機能でIPsecVPNを実施しているが、SINET4のサービスを使わなかった理由は何があるか。	[10/11]主な理由としては、成育や女子医大などのSINETに接続が難しい拠点を考慮してIPsecVPNを採用しています。SINETに接続済の拠点については、今後L2VPNに変更することは可能だと思いますが、拠点の機器にも依存するため、個別に可否を確認する必要があります。	高	小	2013/10/31	2013/10/11	2013/11/11	済	
66	札幌DC	JP1/ServerConductorの不具合	Windowsのアプリケーションイベントログに次のメッセージ「KASMB6501 処理済みのシステムイベントログを再検出しました。」が不当に表示されることが日立サポート360からアナウンスされた。現象発生時には、上記メッセージを定期的(10～15秒毎)に出力し続けることがあります。	[10/11]現段階で回避策はありません。報告されている現象は、機能や動作に影響を与えるものではないと考えられます。対策版がリリースされましたら、アップデートについて検討いたします。	低	小	2013年度中	未	未	対策版待ち	
66	全拠点	SINET4のサービスを利用するための構成や手続きについて	SINET4のL2VPNなどのサービスを利用する場合に必要な構成や情報について調査する。	[11/11]詳細については、VPNサービス利用に際して、SINET4 (N11)との申請・調整が必要となります。 なお、SINETのサイトにて公開されているL2VPNサービスの利用者情報から札幌DCも利用できるかと考えられます。	中	中	2013/11/11	未	未	済	
67	札幌DC	バックアップサーバで動作するDHCPサーバについて	DHCPサーバが動作しているため、IP自動取得に設定されたクライアントは勝手にIPアドレスが割り振られてしまう可能性があるため調査する。	[10/28]DHCPサーバの設定で、特定のMACアドレスを持つマシンのみIPアドレスを割り振るように設定が可能です。近日中に設定を実施いたします。	低	小	未	未	未	済	
67	札幌DC	JP1/ServerConductorの不具合	Windowsのアプリケーションイベントログに次のメッセージ「KASMB6501 処理済みのシステムイベントログを再検出しました。」が不当に表示されることが日立サポート360からアナウンスされた。現象発生時には、上記メッセージを定期的(10～15秒毎)に出力し続けることがあります。	[10/11]現段階で回避策はありません。報告されている現象は、機能や動作に影響を与えるものではないと考えられます。対策版がリリースされましたら、アップデートについて検討いたします。	低	小	2013年度中	未	未	移行	障害一覧に移行
67	札幌DC	DHCPサーバが無関係のPCIに与える影響	バックアップサーバは、DHCPサーバを内蔵しておりバックアップを取得する際に対象サーバにIPアドレスを割り振っているが、無関係のPCIがIPアドレスを取得してしまう事は無いのか?	[10/29]DHCPサーバの設定により、許可リストを作成して、許可したMACアドレスを持つ機器だけにIPアドレスの配布を行うことができます。 [10/30]札幌DCのバックアップ取得対象サーバの全MACアドレスを許可リストに登録しました。	中	中	2013/10/30	2013/10/30	2013/10/30	済	
69	全拠点	保守に関するサービスについて	11/13に札幌DCのHA8000の点検サービスについて、北海道日立システムズから医科研に連絡があったが、それ以外にもどのようなサービスがあるのか。	[11/13]サービスをまとめ提出いたします。 [12/9]HA8000の他に、HUS、BRについても点検サービスがあります。札幌DC以外の拠点機器についても点検サービスがあります。69-2の連絡フローと合わせてまとめ表を提出いたします。	中	中	2013/12/10	2013/11/13	未	調査中	

管理番号	拠点	件名	顧客内容	対策内容	優先度	重要度	対策予定日	対策着手日	対策完了日	ステータス	備考
69-2	全拠点	保守に関するサービスの連絡方法について	11/29に女子医大のHA8000の点検サービスについて、日立システムズから医科研に連絡があったが、拠点毎ではなく全拠点まとめて連絡が欲しいとご要望いただいた。	[12/9]点検情報は日立システムズの現地部隊で管理を行っているため、まとめてご連絡することは困難ですが、管轄単位でまとめてご連絡するようにいたします。 ・札幌DC (HA8000, HUS, BR) ・女子医大、慶應大、成育医療センター (HA8000, HUS) ・阪大 (HA8000, HUS)	中	中	2013/12/10	2013/11/29	未	調査中	
70	成育医療研究センター	VFPの設定不具合	成育のshare_nochidが、実際には女子医大のshare_tamuが参照されていた。	[1/23]構築時の設定が誤っていました。現在は修正され、他拠点の設定も問題ないことを確認しております。回線のミスが入らないように対策を実施いたします。 [1/17]報告を持って完了といたします。	高	大	2013/11/22	2014/1/17	2014/1/17	済	
71	札幌DC	HUS物理破壊に伴う証明書	#38でHUSはソフトウェア消去ができなかったため、物理破壊を行った。機器を使用していないため専用の証明書は発行されないとの事だが、何らかの証明書が発行できないか。	[1/17]データ消去作業終了証明書を提出します。	中	中	2014/1/17	未	未	済	
72	札幌DC	物理破壊したHDDの廃棄について	日立6rで産廃可能なところはないか。	[12/25]日立物流ダイレックスにて産廃可能です。HDD自体に処分費はかからず、運搬費(引取りと処分場持込)のみで1回当たり2万円程度とのことです。 [1/17]東大-日立物流ダイレックス間で過去に取引があることがわかりましたので、作業が必要な際にご連絡いただければすぐに作業可能です。ご契約は作業の2週間前までお願いいたします。	中	中	2014/1/17	2013/12/25	2014/1/17	済	
72-2	全拠点	物理破壊したHDDの廃棄について	HDDのシリアルナンバーを確認できないか。	[1/17]HA8000, BRについては、HDDのシリアルナンバーおよび搭載箇所が確認できます。HUSについては確認中です。 [1/31]製品工場に確認を行い、整理中です。	中	中	2014/2/28	2013/12/25	未	確認中	
73	全拠点	iLabberの拠点変更	iLabberを使っていない拠点で、ライセンス一式を別拠点に移すことは可能か。可能ならばその手続きについて調査する。	[12/25]現在アクセルリスにて契約書を作成中です。1月上旬旬までご提出し、1月末契約書締結というスケジュールで進めさせていただき予定。内容としては、プロジェクト全体でライセンスを使用するという方向で検討しています。既存ライセンスについても製品名が変更となりましたので、合わせて契約書を変更させていただきます予定です。 [1/17]1/14に契約書を提出しましたので、内容のご確認をお願いします。 [1/31]契約書を頂き、7/24/17へ提出済。	中	中	2014/1/31	2013/12/25	2014/1/31	完了	
74	医科研病院	iLabberの先行利用	iLabberを拠点追加前に先行して札幌DCにインストールして使ってみたい。そのようなことが可能か。	[12/25]アクセルリスによると、8月頃に医科研病院よりiLabberについて試用してみたいとの問い合わせがあり、クラウド版を試してもらったことがあるとのこと。先行して利用したい目的を確認したいため、1月に医科研病院、アクセルリス、弊社で打合せをさせていただきたくありません。 [1/17]1/16に医科研病院、アクセルリス、弊社で打合せをさせていただきました。医科研病院の目的を引渡し表にすぐ運用できるようにトレーニングしておきたいとご要望でした。デモ環境はクラウド版しかなく、ユーザ管理などサーバ版とは違うことをご説明し、サーバ版の機能のご説明を実施しました。再度、クラウド版のデモ環境をご提供することとし、弊社から貴学への引渡し前に操作ができる日程を確認できるか、検討することとしています。	中	中	2013/12/24	2013/12/24	2013/12/24	完了	
75	中井研	SEPMのレポート機能の補完について	SEPMのレポートが正しくないことがわかっており、使いにくい。他の方法で補完することはできないか。	[12/25]機能を補完する仕組みを検討いたします。	中	中	2014/2/28	未	未	確認中	
76	東京女子医大	追加されたサーバ機器対策	シーケンサーやサーバー用のサーバが、直接インターネットへの口を持っているため、FW等で何らかの対策が必要か検討する。	[1/16]シーケンサーやサーバーなどの装置と通信するLinuxサーバにセキュリティソフト(ServerProtectForLinux)をインストールすることでセキュリティを強化することを御提案いたします。	中	中	2013/12/24	2014/1/17	2014/1/17	済	
77	成育医療研究センター	無線APのパスワード	成育の無線LANルータのパスワードを調査する。	[12/17]デフォルトのパスワードの可能性があり、池田様にご確認をお願いしました。	中	中	2013/12/24	2014/1/17	2014/1/17	済	
78	全拠点	Fortigateのログ出力について	ログが95%を超えると、常にメールで通知されるようになるが、メールを出さないようにするためには、 ①メール出力をしない ②ログをディスクに出力しない のいずれかである。どのように運用するのが良いか。	[12/25]メールを受信しても、不要なメールとして処理する運用で回避することで運用させていただきたいと思えます。	中	中	2013/12/24	2014/1/17	2014/1/17	済	
79	全拠点	Fortigateのファームウェアアップデート	SCSK等にFortigateのファームウェアアップデートを依頼すると金額でいくらか掛かるのか調査する。	[12/25]日立システムズに作業を依頼した場合、事前準備を含めて1回のアップデートで概算価格として、約130万程度です。(札幌DC、女子医大、阪大、成育医療センター、慶應大学のアップデートを実施する場合)	中	中	2013/12/24	2014/1/17	2014/1/17	済	
76	札幌DC	サーバの稼働時間が208.5日以上経過後にOSが起動できなくなる問題について	札幌DCでバージョンアップしたカーネル2.6.32-220.4.2.e16以外の場合でもOS稼働208.5日経過後はOS再起動でハングアップする。	[12/24]対策版がリリース予定となっておりますが、定期的なOS再起動で回避する運用とさせていただきますと思います。3月末、9月末で半年ごとのメンテナンスとして再起動を実施することによいと思われれます。	中	中	2014/2/24	2014/2/24	未	確認中	
77	全拠点	Oracle Java 7 Update 51のセキュリティに関する仕様変更の影響について	Java7Update51にすると、Webコンソールが動作しなくなる現象が確認された。	[12/24]以下のリモートコンソールが機能しなくなることを確認済みです。これらは設定変更で回避可能です。 HA8000 BS500 JP1/SC/DPM JP1/SC/BladeServerManger その他、サポートのアナウンスに従い対象製品について対策を行います。	中	中	2014/2/25	未	未	確認中	

再生医療臨床実現化ハイウェイ研究事業
「幹細胞関連情報の基盤システム追加拠点一式」

仕様書

平成 25 年 10 月
国立大学法人 東京大学医科学研究所

目次

I 仕様書概要説明	1
1. 調達背景及び目的	1
2. 調達物品名及び構成内訳	2
3. 技術的要件の概要	4
4. その他	4
4.1 技術仕様等に関する留意事項	4
4.2 導入に関する留意事項	4
4.3 提案に関する留意事項	4
II 性能・機能に関する要件	5
1 拠点機関用幹細胞関連情報の基盤システム	6
1.1 拠点機関向けラック型サーバ	6
1.1.1 Linux サーバ	6
1.1.2 Windows サーバ	8
1.2 拠点機関向けタワー型サーバ	9
1.2.1 Windows サーバ	9
1.3 拠点機関向け NAS ストレージシステム	11
2 デジタルペン	11
3 タブレット・スレート端末	13
3.1 Windows ベース端末	13
3.2 MacOS ベース端末	14
4 ネットワーク機器	14
4.1 VPN/ファイアウォール装置	14
4.2 ネットワークスイッチ(レイヤー2 LAN スイッチ)	15
5 ソフトウェア	15
5.1 ソフトウェア環境	15
5.2 データマイニング等各種ソフトウェア	16
6 UPS (無停電電源装置)	16
7 外部入出力装置	16
7.1 ラック型の場合	16
7.2 タワー型の場合	16
III 性能・機能以外の要件	17
1. 設置場所等	17
1.1 設置場所	17
2. 保守体制・支援体制	17
2.1 保守体制・支援体制	17

2.2 システム導入体制	17
3. マニュアル・説明書等	18
4. その他	18
参考資料: 厚労省科研費「ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築 に関する研究」データ共有・公開に関するルール	19

I 仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

本基盤システムは、厚労省科研費「ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究」の参加者が互いに未発表の実験データ等を相互貢献の精神に基づき、その上で共有することによって、各自の研究の効率化をはかり、実験手法等の標準化を推進し、データマイニング等の IT 技術によりデータを横断的に解析することで新たな発見を促進することを第一の目標とし、さらに、共有されたデータのうちで合意できたものを順次一般公開していくことで、参加者以外の研究者等にも便宜を与え、広くわが国における再生医療の臨床実用化を加速することを第二の目標として、導入しているものである。

本基盤システム上で行われるデータ共有方法に関しては『参考資料: 厚労省科研費「ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究」データ共有・公開に関するルール』を参照されたい。

平成 24 年 10 月 24 日付の仕様書で調達した「幹細胞関連情報の基盤システム一式」は平成 25 年 1 月 31 日に納入された後、以下の機関（1 中核機関と 4 拠点機関）による利用が開始され、現在にいたっている。

中核機関

- 東京大学医科学研究所

拠点機関

- 大阪大学医学部
- 東京女子医科大学先端生命医科学研究所
- 国立成育医療研究センター研究所
- 慶応義塾大学医学部

本仕様書で調達する「幹細胞関連情報の基盤システム追加拠点一式」は以下の 4 拠点機関を基盤システムに追加するためのものである。今回の仕様書の特徴は、各拠点における利用可能な設置スペースの広さが既導入拠点ほど確保できないこと、およびサーバ構成に既存拠点での機能利用経験を反映させた点である。カッコ内の「ラック型」、「タワー型」は設置場所の管理方法の違いによって導入するサーバの型式を変えたものである。なお「ラック型」の場合、設置するラックはすでにその拠点で別の目的で使用されているサーバラックを利用する。

- 京都大学 iPS 細胞研究所（ラック型）
- 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター（ラック型）
- 京都大学 再生医科学研究所（タワー型）
- 東京大学医科学研究所附属病院（タワー型）

2. 調達物品名及び構成内訳

再生医療臨床実現化ハイウェイ研究事業

「幹細胞関連情報の基盤システム追加拠点」 一式

[構成内訳]

拠点機関用幹細胞関連情報の基盤システム

デジタルペン

タブレット・スレート端末

ネットワーク機器

ソフトウェア

UPS(無停電電源装置)

外部入出力装置

[サイズ]

1 ラック型サーバ拠点（数字は幅×奥行×高さ）

- サーバ、UPS、NAS ストレージ・システム、ネットワーク機器(VPN/ファイアウォール装置およびネットワークスイッチ)、KVM 装置：あわせて 19 インチラック 10U 程度
- デジタルペン対応用紙印刷用プリンタ：
700×650×500mm 程度（カセット 1 台の場合。またトレイ/フィーダー部分を除いた場合）

2 タワー型サーバ拠点（数字は幅×奥行×高さ）

- サーバ： 300×700×500mm 程度
- UPS： 200×500×300mm 程度
- NAS ストレージシステム： 200×500×450mm 程度
- ネットワーク機器（VPN/ファイアウォール装置およびネットワークスイッチを重ねたサイズ）： 500×400×100mm 程度
- LCD モニター： 23 インチ程度まで
- デジタルペン対応用紙印刷用プリンタ：
700×650×500mm 程度（カセット 1 台の場合。またトレイ/フィーダー部分を除いた場合）

[数量]

II章 項番	システム名称	数量	備考
1	拠点機関用幹細胞関連情報の基盤システム	一式	
1.1	拠点機関向けラック型サーバ	一式	
1.1.1	Linuxサーバ	2台	
1.1.2	Windowsサーバ	2台	
1.2,	拠点機関向けタワー型サーバ	一式	
1.2.1	Windowsサーバ	2台	
1.3	拠点機関向けNASストレージシステム	4台	ラック型拠点の2台は 19インチラックに設 置。
2	デジタルペン	一式	1拠点あたり5本。 必要ソフトウェア、プ リント含む 4拠点に設置
3	タブレット・スレート端末	一式	
3.1	Windowsベース端末	20台	1拠点あたり5台、 4拠点に設置
3.2	MacOSベース端末	20台	1拠点あたり5台、 4拠点に設置
4	ネットワーク機器	一式	
4.1	VPN/ファイアウォール装置	4台	4拠点分
4.2	ネットワークスイッチ	4台	4拠点分
5	ソフトウェア	一式	
5.1	ソフトウェア環境	一式	4拠点分
5.2	データマイニング等各種ソフトウェア	一式	電子実験ノートについ ては、既存のソフトウ ェア2ライセンス分を 使用するため、新規調 達は2拠点分。その他 は4拠点分。
6	UPS (無停電電源装置)	4台	4拠点分
7	外部入出力装置	一式	